

岡山孤兒院佐賀市慈善會趣意書

謹啓多年本院の事業に對し深き御同情を以て御贊助を辱ふし難有御厚禮申上候本院救養の事業に對しては辱くも天聽に達し 帝室より年々金一千圓の御恩賜を蒙るの光榮を荷ひつゝある事は諸賢の風に御承知の處なり 倅日清日露戰役に際し軍人遺兒收容に引續き東北 大凶災地より飢餓に迫る八百二十三名の孤兒を收容し一時は千二百餘名の大家族と相成候も其後家政の恢復に伴ひ其の一部は夫れく送還せしも今尙七百名に近き兒童を教養致し一ヶ月の經費凡そ五千圓を要するも此等の經費は素より各地に於ける博愛仁慈なる諸賢の御同情に依り今日迄經營罷在候次第從て今回當市の義俠家に訴へ慈善會を開き本院兒童日常の行動を活動寫眞に撮映して御報告申上且つ餘興活動寫眞數十種並に音楽演藝各種を以て御覽に供し其の御喜捨の金品に頼り可憐なる天下無告の孤兒を救濟仕度候間何卒多大の御同情を以て御來觀の榮を賜はり度茲に可憐なる孤兒弟妹の爲めに此段歎願の至りに不堪候 敬 白

明治四十一年十二月



次十井石者立創

法人岡 山 孤 兒 院

一開會の時日及會場の位置 十二月十一日より二日間午後六時 新榮座
一開會の辭 リップード博士 (通譯附)

一岡山孤兒院の内部を實寫せし幻燈及活動寫眞
 ○孤兒院の來歴 ○石井院長醫書を焚く ○三友寺時代の炊事場 ○三友寺の祈り場 ○現今の院見 ○第一回収容兒前原定一の現況 ○千人行列 ○事務所に孤兒到着の狀況 ○寢床及起床洗面所の光景 ○室內外掃除衛生 ○理髮部 ○物品買入部 ○日用品配達の實況 ○活版部の内容 ○小學校舍教室の一部 ○女子部家庭滿服主義 ○機械体操 ○消毒場と西洋洗濯 ○羽根つき流動圖木繩飛院兒の角力 ○幼稚園及幼稚兒旗取競争 ○日向國茶臼原別院農業部の實況 ○馬耕隊 ○皇室の御沙汰書

一餘興活動寫眞 (毎夜取替)

○越後獅子舞 ○二少年悪戯 ○スイッツル山中の瀧 ○蕪州淺野公の庭園 ○一寸法師 ○姦婦の爲め孤兒となる悲劇 ○舞子の演の美 ○宮島の景色 ○正直の青年成功 ○黒木大將凱旋 ○賢犬遊戯 ○日本海大海戦 ○捕鯨 ○孝行の二少年 英國少年花の運動 ○御嶽山の絶景 ○六ヶ國舞 ○輕氣球にて敵偵察 ○蝶ノ飛行舞 ○ベスピヤス山大噴火 ○米國日本村輕業 ○浦島の舞 ○天一の奇術 ○汽車飛乗 ○子守女の失敗 ○貧困の爲め盗をなし警官の慈悲 ○劍舞 ○二十五世紀の醫術

一有志家寄附演奏

筑前琵琶	福岡	豊田	旭	横	女	史
ハイオリン	合奏	リッ	バ	ド	博	士
オールガン	合奏	全	村	雪	之	之
四季の眺	三絃	福中	田	榮	之	之
越後獅子	尺八	池	田	賀	之	之
		香	月	賀	之	之
		池	秋	山	山	山
		福	春	都	都	都
		山	之	人	君	君
		秀	之	君	君	君
		山	夫	君	君	君
		諸	之	人	君	君
		諸	之	山	山	山
		山	山	山	山	山
		島	山	山	山	山
		立	山	山	山	山
		足	山	山	山	山
		秀	山	山	山	山
		山	山	山	山	山
		豊	山	山	山	山
		田	山	山	山	山
		立	山	山	山	山
		旭	山	山	山	山
		娘	山	山	山	山
		次	山	山	山	山
		史	山	山	山	山

佐賀市白山町 曙 荒 木 旅 館 内
 白山町 上 村 榮 盛 堂
 南十軒 米 屋 陶 器 店
 米屋町 山 崎 時 計 店
 八幡小路 市内同盟二十二旅館内

觀覽券

一慈善會觀覽券御入用の御方は當夜會場にて御渡申すも可相成取扱所並に事務所
 へ御申込被下度候

特別御寄附金ハ受付ニテ頂戴仕リ候御不用品御寄附思召ノ御方ハ御通知次第參館可仕候也
 事務所 佐賀市白山町曙旅館内 (電話二三四番)

出張事務員 松 隈 正 樹

謹啓

時下御清榮奉大賀候さ
て別紙趣意書の通り岡
山孤兒院の爲め慈善會
開催仕候間何卒萬障御
繰合御來會被成下度此
段招待券相添へ御案内
申上候敬具

明治四拾 年 月 日

岡山孤兒院慈善會

理事 石井 十次

和松軒
西塘齋

石丸
勝一殿

岡山孤兒院慈善會事務所





岡山孤兒院慈善
音樂活動寫真會

招待券

滿場の節は翌日御來會を乞ふ

不
券
一
席
市
子
族

御壹人壹回限

岡山孤兒院慈善
音樂活動寫真會

滿塲の節は翌日御來會を乞ふ

岡山孤兒院印
招待券

石丸 啓

殿

岡山孤兒院慈善
音樂活動寫真會

招待券

滿場の節は翌日御來會を乞ふ

石上 勝一 書
市定 族